

2020 年「CBR250R Dream Cup」開催概要

CBR250R Dream Cup とは

「CBR250R Dream Cup」は、Honda CBR250R を使用した年式・モデルチェンジ(MC)に関わらず参加が可能なレースです。

改造範囲を制限しているのでマシンの性能差がほとんど無く、毎回接戦が繰り広げられます。

2020 年も、エキスパートクラスとビギナークラスの 2 クラスを開催いたします。

使用タイヤは昨年に引き続き DUNLOP のワンメイクとなっており、住友ゴム工業株式会社様のご協賛をいただき、各サーキット開催の「E クラス」優勝者と、※1「Dream Cup DUNLOP 杯 GC」全出場者、※2「Dream Cup DUNLOP 杯 BC」の上位3名に公認タイヤが贈呈されます。

全国大会については、「Dream Cup DUNLOP 杯 GC」を※3 鈴鹿サーキットで、「Dream Cup DUNLOP 杯 BC」を※4 ツインリンクもてぎのフルコースで開催予定です。

詳細は現在調整中です。決定次第別途ご案内いたします。

※今後の状況に応じ開催を見合わせる場合があります。

※1 「CBR250R Dream Cup DUNLOP 杯グランドチャンピオンシップ」(Dream Cup DUNLOP 杯 GC)

※2 「CBR250R Dream Cup DUNLOP 杯ビギナーチャンピオンシップ」(Dream Cup DUNLOP 杯 BC)

※3 11月21日・22日開催 第56回 NGK スパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース最終戦

※4 10月3日開催 もてぎロードレース選手権 第4戦

<CBR250R Dream Cup のクラス設定>

■ エキスパートクラス (E クラス)

■ ビギナークラス (B クラス)

CBR250R Dream Cup の魅力

(1) 全国のサーキットで開催 (詳細はレーススケジュールを確認ください)

参加資格は、年齢制限がなく、どなたでも参戦可能です。

また、全国の身近なサーキットで開催するので気軽にレースが楽しめます。

(2) 全国大会の開催

■ エキスパートクラス(E クラス) 「Dream Cup DUNLOP 杯 GC」

全国のサーキットでシリーズ戦を争い、上位ランキング者に出場権が与えられます。尚、「Dream Cup DUNLOP 杯 GC」において優秀な成績を収めたライダーに対し、ステップアップを前提に HRC からのパーツ支援が行われます。

1. 2020 年度の開催レースに参加実績(1戦)があれば出場権が与えられます。

2. 各サーキットの対象ポイント獲得決定は、日程調整中です。

3. 代表選考は、各サーキットのシリーズ戦終了と同時に決定となります。

この決定を辞退することはできますが、保留にすることはできません。

4. 上位ライダーの中で参戦権辞退の申し出があった場合に限り、各主催者参加枠数まで繰り上げを認めます。但し、シリーズランキング 10 位までとします。
5. 「Dream Cup DUNLOP 杯 GC」の決勝走行台数は調整中です。
6. 出場者が多い場合は、予選によって決勝競技出場者を決定します。
7. ライセンスについて
「Dream Cup DUNLOP 杯 GC」は、MFJ 承認競技会のため MFJ ライセンスが必要です。
 - ・ジュニアライセンス:12～16 歳未満(16 歳になった場合、フレッシュマンライセンスに移行される)
 - ・フレッシュマンライセンス:16 歳以上
 - ・国内/国際ライセンス
8. 施設別参加枠決定基準は、2020 年 8 月までの参加台数より参加枠数を決定します。
9. 開催される施設に「推薦枠」で 1 枠設けます。

■ ビギナークラス(B クラス) 「Dream Cup DUNLOP 杯 BC」

全国のサーキットでシリーズ戦が行なわれ、参加実績(決勝を走行)があれば、当大会への出場権が与えられます。

1. 2020 年度の開催レースに参加実績(1戦)があれば出場権が与えられます。
 2. レース参加実績の集計は、日程調整中です。
 3. 「Dream Cup DUNLOP 杯 BC」の決勝走行台数は調整中です。
 4. 出場者が多い場合は、予選によって決勝競技出場者を決定します。
 5. ライセンスについて
「Dream Cup DUNLOP 杯 BC」は、MFJ 承認競技会のため MFJ ライセンスが必要です。
 - ・ジュニアライセンス:12～16 歳未満(16 歳になった場合、フレッシュマンライセンスに移行される)
 - ・フレッシュマンライセンス:16 歳以上
 - ・国内ライセンス
 6. 参加希望者の資格
 - ・自己申告制:参戦希望が B クラスエントリーである事を確認して下さい。
 - ・参考基準タイムを、必ず確認して下さい。
 - ・過去に「CBR250R Dream Cup」(E クラス)でポイントを獲得または、参考基準タイムを上回っていない事を確認して下さい。
 - ・B クラスへのエントリー資格は、2020 年中に参考基準タイムを上回っても 1 年間有効とします。
 - ・2020 年度に E クラスに参戦してポイントを獲得した場合は、それ以降の B クラスへのエントリーはできません。また、「Dream Cup DUNLOP 杯 BC」にも参戦できません。
 - ・過去に「Dream Cup DUNLOP 杯 BC」にて 3 位以内に入賞した戦歴がある場合は、「Dream Cup DUNLOP 杯 BC」には参戦できません。
 - ・国際ライセンス所持者は参加不可。
- ※各サーキットによってローカルルールが設定されていますのでご確認ください。

各サーキットの開催クラス

各サーキットの開催クラスについては、決定次第別途ご案内いたします。

レース参加車両について

Honda CBR250R を使用すること。改造範囲は制限されており、エンジン及びフレームはノーマルのまま使用します。サイレンサーの交換は認められているので、スリップオンマフラーの交換ができます。アンダーカウル、キャッチタンクなど、ロードレースの基本的な仕様への変更、改造が必要です。

HRC サービスショップからは、レース専用車両のスポーツベース車が各ショップオリジナルの仕様で販売されています。

また、市販車の CBR250R を改造しレース用キットパーツを組付けて参加することもできます。

但し一般公道の走行は出来ませんのでご注意ください。

タイヤは DUNLOP のワンメイクです。DUNLOP の α -13SP が指定タイヤとなっています。

HRC CBR250R スポーツベース車について

CBR250R スポーツベース車は、HRC サービスショップにて完成車コンプリート化することを前提に、HRC から HRC サービスショップへ提供している車両です。ベース車両は、レース走行に必要なパーツ(ヘッドライトやストップランプ等)を外し、ECU やハーネスをレース専用のパーツと交換。レース走行に効果的なクイックシフターやピットレーンスピード制御スイッチを装備しています。また、オプションの FI セッティングツール使用時に使うことのできるモード切り替えスイッチを事前に装備するなど、サービスショップがレースマシンに仕立てるために必要なパーツを組み込んだ本格的なベース車としています。各サービスショップは、独自開発したレース走行に必要なパーツを組み込み、完成車として販売します。

各サービスショップで用意する販売モデルは、大きく分けてベーシックモデルと HRC サービスショップオリジナルモデルの 2 モデルが用意される予定で、レースに精通したサービスショップならではのラインナップとなります。(販売時期・仕様・価格については各サービスショップにお問い合わせ下さい)

CBR250R スポーツベース車情報ページはこちら>>

サービスショップ情報ページはこちら>